

経営比較分析表（令和5年度決算）

兵庫県地方独立行政法人明石市立市民病院 明石市立市民病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
地方独立行政法人	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	非設置
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	25	対象	透Ⅰ訓	救 臨 地 輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
-	24,608	非該当	非該当	7：1

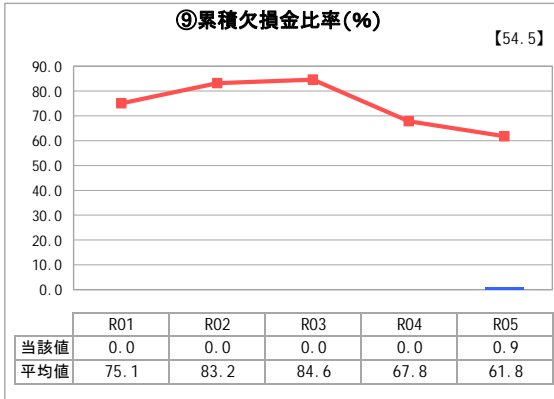
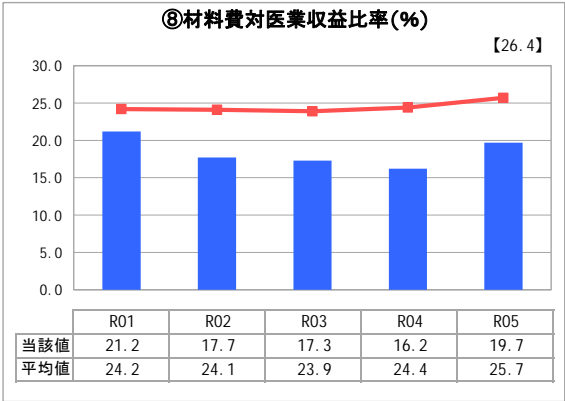
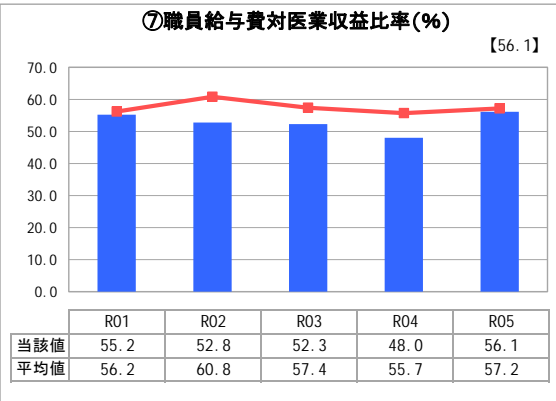
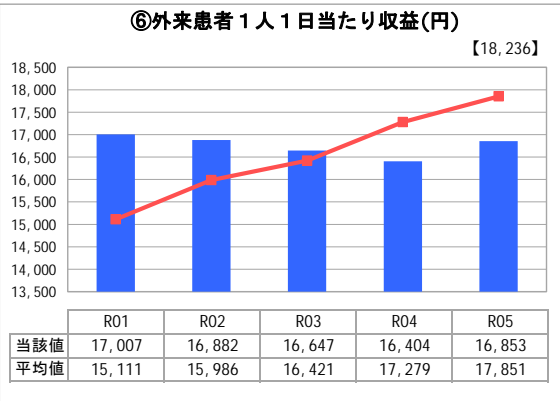
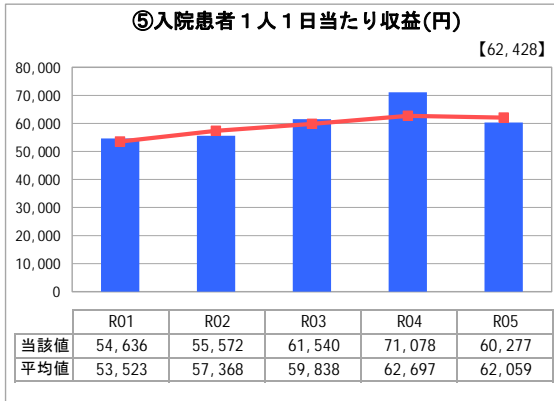
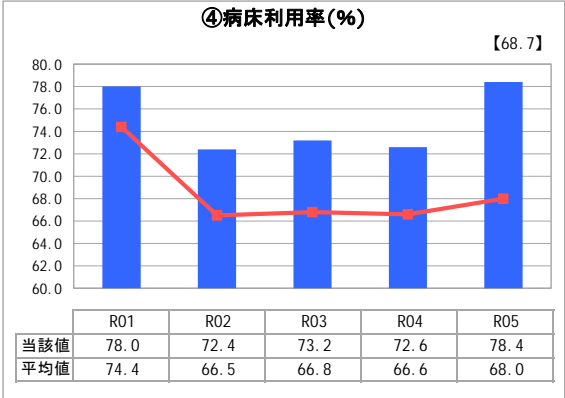
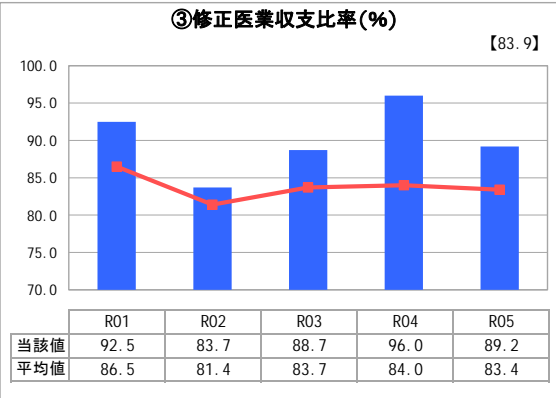
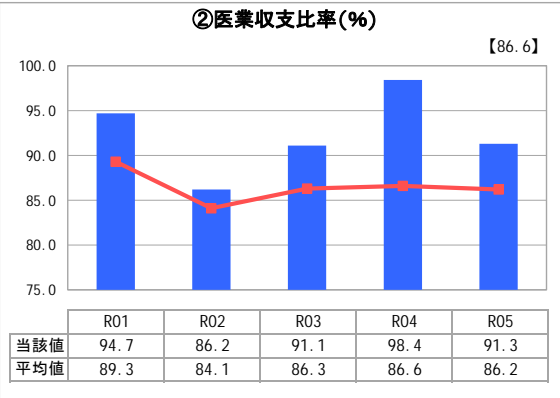
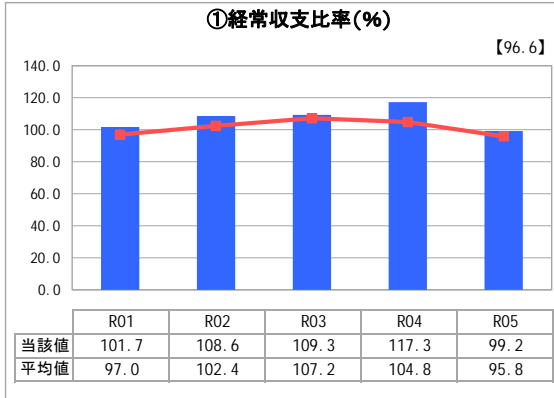
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 ヘ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

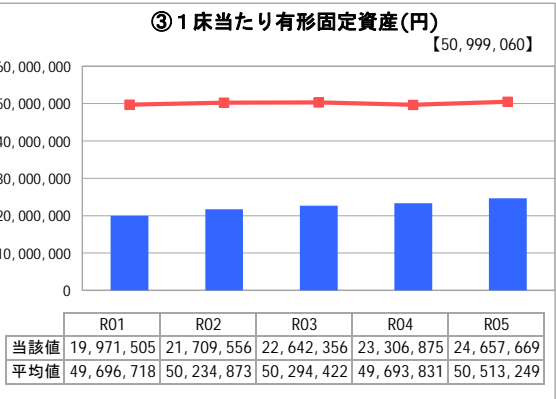
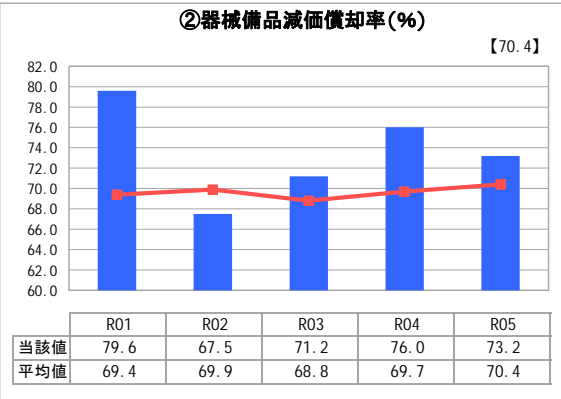
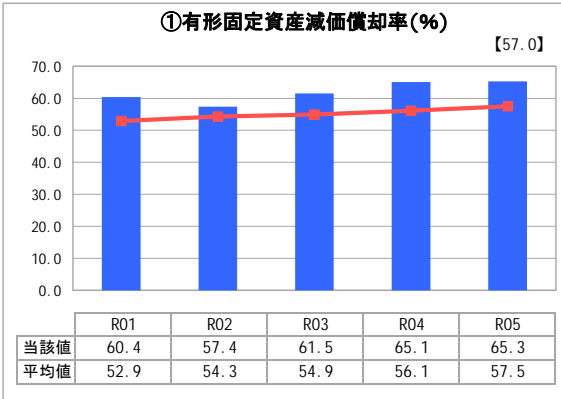
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
329	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	-	329
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般＋療養）
305	-	305

グラフ凡例
■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化 （従来の両輪・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

急性期医療を核にしながら、回復期および在宅支援を含めた各病期に対応できる総合的医療を推進する。
地域の医療機関との連携による、地域完結型医療を提供する。
自治体病院として、救急医療や小児医療、感染症医療などの政策的医療を安定的に提供する。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

新型コロナウイルス関連の特例的な収入を見込まずに収支計画を立てたうえで、収入確保および経費削減、労働生産性の向上に努めたが、医業収益の減少に加え、物価高騰等の影響もあり赤字となった。
病床利用率はコロナ前の令和元年度と同水準まで回復したが、一方で、入院、外来ともに1人1日あたりの収益が平均を下回っており、医業収益の確保により経営の健全性を高めていく必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が平均値より7.8ポイント、器械備品減価償却率が2.8ポイント上回っており、1床当たり有形固定資産については、平均値より約2,600万円下回っている。平成23年10月の地方独立行政法人化以降、設備投資を抑制していた時期もあり、設備等の老朽化が進んでいる状況である。
安全・安心な医療の提供を維持していくため、医療機器の更新・導入については計画的な設備投資を行っている。
今後、施設や設備の適正な保全に努め、自治体病院として求められる医療機能・役割を果たしていく必要がある。

全体総括

平成23年10月の地方独立行政法人化以降、医療の質のさらなる向上と安定した経営基盤の確立に向け、経営努力を続けている。
令和5年度は、ポストコロナにおいて、効率的な病床運営による診療実績の改善、業務の効率化による経費削減及び労働生産性の向上に努めたが、医業収益が目標値を下回ったことや物価高騰による経費の増大などにより、経常収支は9年ぶりに赤字となった。
安全・安心な医療を持続的に提供していくため、経営基盤の強化と計画的な設備投資を図りながら、施設や設備の保全、機能維持を図る必要がある。